

平成28年3月17日
京 都 市
京阪電気鉄道株式会社

**深草駅及び深草駅自由通路のバリアフリー化工事が完了
平成28年3月31日（木）から供用を開始します**

京都市と京阪電気鉄道株式会社は、「深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」に基づき、京阪電車深草駅及び深草駅自由通路の更なる安全性及び利便性の向上を図るため、相互に協力して工事を進めてまいりました。

この度、駅舎及び自由通路新設によるバリアフリー化工事が完了し、平成28年3月31日（木）午前5時から供用を開始します。

事業概要は下記のとおりです。

記



▲リニューアル後の深草駅及び深草駅自由通路（イメージ）

1 事業概要

(1) 自由通路（京都市事業）

ア 自由通路の新設

既設自由通路の幅員約3mから、新設自由通路の幅員を4～5mに拡幅しました。自転車も積載可能な大型エレベーターを東西に設置し、すべての方が安心・安全で円滑に移動できるようになりました。

(2) 深草駅（京阪側事業）

ア 駅舎の新設

現在の駅舎では実現が困難であったエレベーターや多機能トイレ等のバリアフリー化設備を整備することにより、更にご利用いただきやすい駅舎に生まれ変わりました。

※駅舎新設により新たに整備される設備

エレベーター2基，幅広改札口，点字案内板，多機能トイレ

イ ホーム拡幅

更なる安全性向上を目指し、ホームを最大2m拡幅しました。

ウ 列車接近表示器の整備

列車の接近・通過をお知らせする装置で、光の点滅で注意を喚起します。

(3) 事業年度

平成26年度～平成28年度（自由通路は平成26年度～平成27年度）

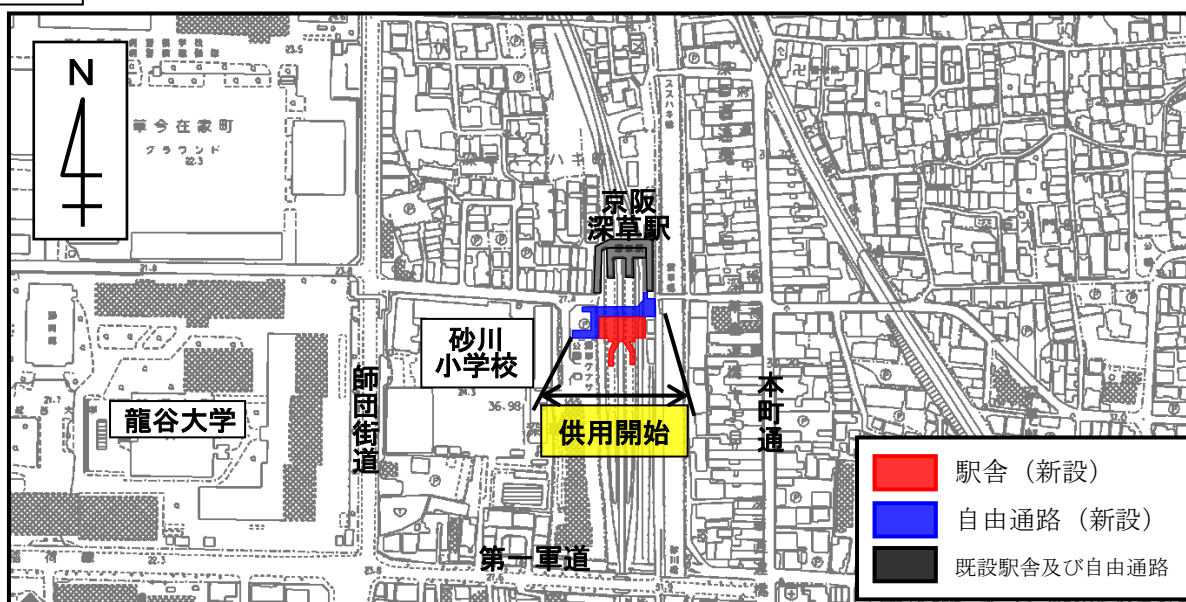
(4) 総事業費

自由通路（京都市事業） 約3.5億円

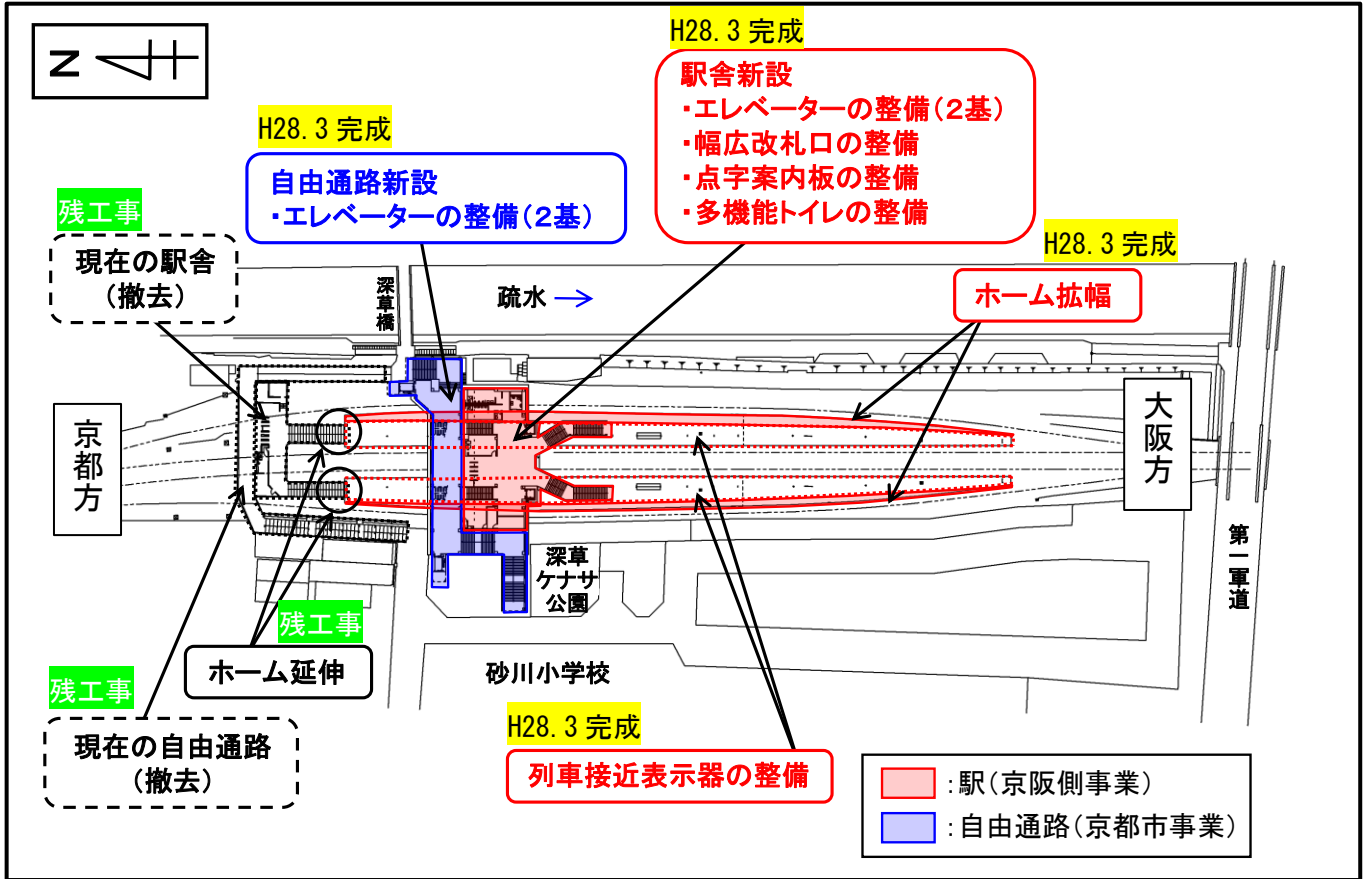
深草駅（京阪側事業） 約1.1億円

2 概要図

箇所図



全体事業概要図



※残工事(ホーム延伸等の京阪単独事業を含む)は、平成28年12月末完成予定です。

以上